

史跡垣ノ島遺跡保存活用計画

令和 8 (2026) 年 3 月

函館市教育委員会



史跡垣ノ島遺跡 遠景（東から：令和7(2025)年8月撮影）



盛り土遺構（北から：令和7(2025)年8月撮影）



盛り土遺構の調査
(平成 15(2003)年度)



石錘



はこだて縄文まつり
2022 in 垣ノ島

序 文

史跡垣ノ島遺跡は、函館市南茅部地域の太平洋を望む海岸段丘上に立地する、縄文時代早期から後期の約6,000年間の長期にわたり営まれた遺跡です。国内最大級の盛り土遺構をはじめ、足形付土版や漆塗り注口土器など貴重な遺物・遺構が数多く発見されており、北日本を代表する拠点的な集落として、平成23(2011)年2月7日に国の史跡に指定されました。

史跡指定後は、公有化を経て、平成24(2012)年12月に策定(平成28(2016)年3月改訂)した「史跡垣ノ島遺跡保存管理計画」に基づき史跡の保存管理を行い、平成28(2016)年度から令和2(2020)年度にかけて史跡の整備事業を実施し、広く一般に公開しております。令和3(2021)年には「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の一つとしてユネスコ世界文化遺産に登録され、国内外から高い注目を集めました。

保存管理計画の策定から15年が経過し、史跡を取り巻く環境も大きく変化していることから、本市では史跡の本質的価値を確実に保存し、後世に伝えていくために、このたび「史跡垣ノ島遺跡保存活用計画」を策定し、保存管理、活用、調査・研究、整備、運営・体制についての基本方針を定めました。本計画の策定により、史跡の適正な保存管理に努めるとともに、函館市縄文文化交流センター、史跡大船遺跡と一体となった活用を図り、多様な人々が交流できる地域の拠点を創出してまいります。

おわりに、本計画の策定にあたり御指導を賜りました文化庁、北海道教育委員会、史跡垣ノ島遺跡保存活用計画検討委員会委員各位をはじめ、日頃より多大な御理解と御協力をいただいている南茅部地域の皆様ならびに本計画に携われた全ての方々に心より感謝申し上げます。

令和8(2026)年3月

函館市教育委員会

教育長 藤 井 壽 夫

例 言

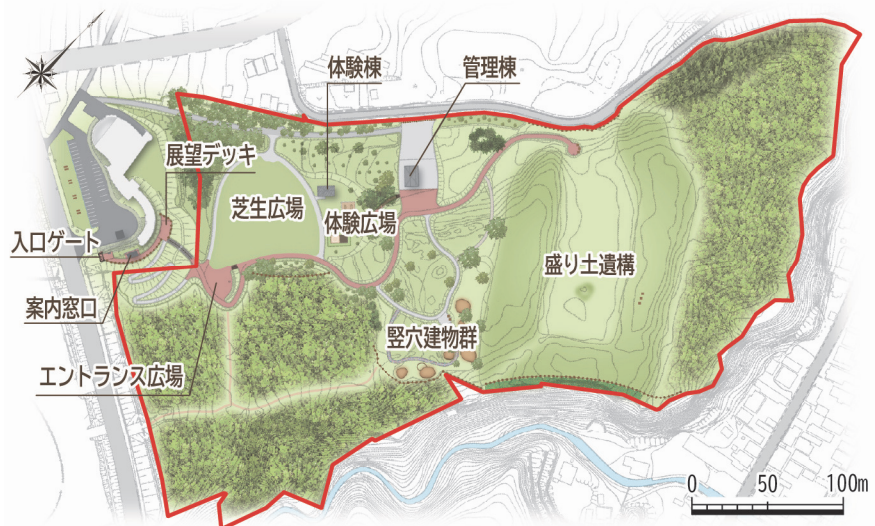
1. 本書は、北海道函館市白尻町に所在する史跡垣ノ島遺跡の保存活用計画である。
2. 本計画策定事業は、函館市が主体となり、令和7年度国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（史跡等保存活用計画策定事業）の交付を受けて実施した。
3. 本計画は、函館市が令和7（2025）年度に設置した「史跡垣ノ島遺跡保存活用計画検討委員会」（國木田大委員長）における協議内容を踏まえ、函館市教育委員会が策定した。
4. 本事業に係る事務は、函館市教育委員会生涯学習部文化財課が担当した。
5. 本計画の策定にあたり、「史跡垣ノ島遺跡保存活用計画策定支援業務委託」として、株式会社空間文化開発機構が策定支援を行った。
6. 本計画は、史跡を取り巻く環境や社会情勢の変化等に伴い、必要に応じて見直しを行うこととする。
7. 本計画の策定にあたり、次の団体、機関等から多大な御指導と御協力を賜った。御芳名を記し、謝意を表する（順不同）。

文化庁文化財第二課，文化庁文化資源活用課，北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課，北海道環境生活部文化局文化振興課縄文世界遺産推進室，鹿角市教育委員会，史跡周辺の土地利用者および地域住民の皆様

凡 例

1. 本計画中では、以下の略称を用いた。なお、初出には正式名称を記している。
 - ・北海道教育委員会 → 道教委
 - ・史跡垣ノ島遺跡保存活用計画検討委員会 → 計画検討委員会
 - ・函館市教育委員会 → 市教委
 - ・函館市縄文文化交流センター → 縄文文化交流センター
2. 引用を明示すべき記載については、本文に註記号（註○）を付し、巻末の参考文献・関係図書において対応箇所を示した。
3. 本計画中にある駒ヶ岳g火山灰（K₀-g）の降下年代は、暦年較正後の値を統一して使用している（吉本ほか 2008，中村・平川 2004）。
4. 既存の公開エリアについては、「史跡垣ノ島遺跡保存整備事業報告書」（令和3（2021）年）にある名称を踏まえ、一部現状を反映し、下図中の呼称を用いた。

- ・入口ゲート
- ・案内窓口
- ・展望デッキ
- ・エントランス広場
- ・芝生広場
- ・体験広場，体験棟
- ・管理棟
- ・竪穴建物群
- ・盛り土遺構



(S=1/5,000)

目 次

口絵

序文

例言・凡例

目次

第1章 保存活用計画策定の沿革・目的

- (1) 計画策定の沿革…………… 1
- (2) 計画の目的…………… 3
- (3) 委員会の設置・経緯…………… 3
- (4) 他の計画との関係…………… 6
- (5) 計画の対象範囲…………… 10
- (6) 計画期間…………… 11

第2章 史跡を取り巻く状況

- (1) 概要…………… 12
- (2) 自然的環境…………… 13
- (3) 社会的環境…………… 16
- (4) 歴史的環境…………… 19
- (5) 文化財…………… 22
- (6) 観光…………… 24

第3章 史跡垣ノ島遺跡の概要

- (1) 指定に至る経緯…………… 27
- (2) 指定に至るまでの調査…………… 28
- (3) 指定の状況…………… 33
- (4) 指定後の調査…………… 39
- (5) その他の調査…………… 57

第4章 史跡垣ノ島遺跡の本質的価値

- (1) 史跡の本質的価値…………… 60
- (2) 史跡の構成要素の特定…………… 62

第5章 大綱（基本方針）…………… 75

第6章 保存管理

- (1) 保存管理の現状と課題…………… 76
- (2) 保存管理の基本方針…………… 78
- (3) 保存管理の方法…………… 78
- (4) 現状変更等の取扱基準…………… 83

第7章 活用	
(1) 活用の現状と課題	90
(2) 活用の基本方針	97
(3) 活用の方法	98
第8章 調査・研究	
(1) 調査・研究の現状と課題	99
(2) 調査・研究の基本方針	100
(3) 調査・研究の方法	100
第9章 整備	
(1) 整備の現状と課題	101
(2) 整備の基本方針	107
(3) 整備の方法	108
(4) 整備の構想	109
第10章 運営・体制	
(1) 運営・体制の現状と課題	112
(2) 運営・体制の基本方針	113
(3) 運営・体制の方法	114
第11章 実施計画	115
第12章 経過観察	
(1) 経過観察の方向性	117
(2) 経過観察の方法	117
附章 世界文化遺産に係る取扱い	
(1) 世界文化遺産としての垣ノ島遺跡の価値	119
(2) 資産および緩衝地帯の設定	121
(3) 保存管理体制	122
関係法令	124
参考文献・関係図書	155

<図目次>

第1章

図1-1	関連計画	9
図1-2	計画の対象範囲図 (S=1/1万)	10
図1-3	計画の対象範囲図 (S=1/8,000)	11

第2章

図2-1	位置図 (市域・地域 S=1/30万)	12
図2-2	位置図 (史跡周辺 S=1/8万)	13
図2-3	史跡周辺の地形図	13
図2-4	史跡周辺の地質図 (S=1/8万)	14
図2-5	史跡周辺の土壌図 (S=1/8万)	14
図2-6	史跡周辺の植生図	15
図2-7	函館・川汲の月別平均気温・降水量 (令和7(2025)年)	16
図2-8	函館市・南茅部地域・白尻町の人口と世帯数 (令和7(2025)年5月31日現在)	16
図2-9	函館市・南茅部地域・白尻町の人口年齢割合 (令和2(2020)年)	17
図2-10	主要な交通アクセスポイント (S=1/30万)	18
図2-11	南茅部地域の埋蔵文化財包蔵地 (S=1/14万)	19
図2-12	史跡周辺の埋蔵文化財包蔵地 (S=1/4万)	20
図2-13	蝦夷嶋奇観	21
図2-14	正保日本図	22
図2-15	先史時代に属する文化財位置図 (S=1/30万)	23
図2-16	観光入込客数の推移	24
図2-17	国別外国人宿泊客数の推移	25
図2-18	主な観光・レクリエーションスポット	25
図2-19	国内旅行者の訪問率 (令和4(2022)年)	26

第3章

図3-1	年度別調査地点図 (史跡指定前：平成12～21(2000～2009)年) (S=1/2,500)	31
図3-2	史跡指定範囲 (S=1/4,000)	34
図3-3	断面位置図 (S=1/8,000)	35
図3-4	A-A' 断面	35
図3-5	B-B' 断面	35
図3-6	土地利用状況 (史跡指定地 S=1/4,000)	36
図3-7	公有化状況 (S=1/8,000)	37
図3-8	土地利用状況 (史跡指定地外 S=1/8,000)	38
図3-9	年度別調査地点図 (史跡指定後：平成25～令和元(2013～2019)年) (S=1/2,500)	40
図3-10	時期別分布図 (早期前半～後半) (S=1/4,000)	41
図3-11	時期別分布図 (前期前半～後半) (S=1/4,000)	42
図3-12	時期別分布図 (中期前半～後半) (S=1/4,000)	43
図3-13	時期別分布図 (後期初頭～後半) (S=1/4,000)	44
図3-14	時期別主要遺物	45
図3-15	盛り土遺構模式図 (S=1/1,250)	47
図3-16	盛り土遺構比較図 (S=1/2,250)	49
図3-17	時期別遺構・遺物分布状況 (前期後半) (S=1/2,500)	50
図3-18	時期別遺構・遺物分布状況 (中期前半) (S=1/2,500)	50
図3-19	時期別遺構・遺物分布状況 (中期後半) (S=1/2,500)	51
図3-20	時期別遺構・遺物分布状況 (後期初頭～前半) (S=1/2,500)	51
図3-21	集落と盛り土遺構の変遷過程	52

図3-22	植生エリア (S=1/4,000)	57
図3-23	来訪者の割合 (地域別)	58
図3-24	来訪者の割合 (年代別)	58
図3-25	来訪者の割合 (訪問者別)	58

第4章

図4-1	構成要素区分の考え方	62
図4-2	構成要素箇所図－史跡指定地内 (I地区 S=1/4,000)	65
図4-3	構成要素箇所図－史跡指定地外 (II地区 S=1/8,000)	70

第6章

図6-1	バス停と管理棟の位置関係 (S=1/8,000)	77
図6-2	法規制図 (S=1/1万5,000)	82
図6-3	現状変更等の取扱いにおける地区区分図 (S=1/4,000)	83
図6-4	現状変更等に関するフローチャート	84
図6-5	植栽における模式図	86

第7章

図7-1	縄文関連施設の来訪者数 (令和元～3 (2019～2021)年)	90
図7-2	縄文関連施設の来訪者数 (令和4～7 (2022～2025)年)	91
図7-3	道内の縄文・世界遺産関係施設の位置 (S=1/140万)	95
図7-4	バス停からの徒歩ルート (S=1/6,000)	97

第9章

図9-1	整備平面図 (第一次整備事業 S=1/2,500)	105
図9-2	デジタルコンテンツのチラシ	107
図9-3	整備計画図 (ゾーニング図 S=1/2,500)	111

第10章

図10-1	どごう館長	112
図10-2	令和7 (2025)年度現在の運営・体制	114

附 章

図附-1	世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産および関連資産とその位置	119
図附-2	集落展開および精神文化に関する6つのステージ	120
図附-3	遺構概念図および視点場の設定箇所 (S=1/4,000)	120
図附-4	資産および緩衝地帯の範囲 (S=1/2万)	121

<表目次>

第1章

表1-1	「史跡垣ノ島遺跡保存活用計画」策定に至る経過	2
表1-2	計画検討委員会委員および関係者名簿	4
表1-3	計画検討委員会の協議内容	5

第2章

表2-1	函館市の文化財一覧	22
表2-2	先史時代に属する文化財一覧	23

第3章

表3-1	発掘調査一覧	28
表3-2	理化学的分析の実施実績（史跡指定前）	32
表3-3	盛り土遺構のある主な遺跡（北海道南部）	48
表3-4	理化学的分析の実施実績（史跡指定後）	56
表3-5	植生一覧	57

第4章

表4-1	構成要素一覧	64
------	--------	----

第6章

表6-1	管理運営業務の実施内容	78
表6-2	景観法に基づく規制（函館市景観計画に定める縄文遺跡群都市景観形成地域）	79
表6-3	現状変更等の取扱基準	85
表6-4	導入候補樹種等一覧	87
表6-5	現状変更等の許可を必要とする行為	88
表6-6	現状変更等の許可を必要としない行為	89

第7章

表7-1	解説・発掘体験・デジタルコンテンツの利用実績	93
表7-2	「縄文文化特別研究」の実施実績	94
表7-3	道内の縄文・世界遺産関係施設間の距離	96

第9章

表9-1	第一次整備事業の経過	102
表9-2	整備事業費	103
表9-3	第一次整備事業での整備内容と整備後の経過および対応	104
表9-4	第一次整備事業後の整備内容と整備後の経過および対応	107

第11章

表11-1	施策の実施計画総括表	115
-------	------------	-----

第12章

表12-1	史跡垣ノ島遺跡 保存活用点検表	118
-------	-----------------	-----

<写真目次>

第2章

写真2-1	弁天岬	13
写真2-2	鳴岩	14
写真2-3	土層堆積状況(平成29(2017)年度調査)	14
写真2-4	史跡内の植生	15
写真2-5	コンブ漁の様子(令和2(2020)年6月撮影)	17
写真2-6	大謀網漁の様子(平成21(2009)年10月撮影)	17
写真2-7	主な出土遺物1	20
写真2-8	主な出土遺物2	21
写真2-9	北海道建網大謀網漁業発祥の地及び記念碑	22
写真2-10	先史時代に属する文化財	24
写真2-11	主な観光スポット	26

第3章

写真3-1	一般国道278号尾札部道路(バイパス)改良工事に伴う緊急発掘(平成15(2003)年度調査)	27
写真3-2	後期後半の竪穴建物群(平成13(2001)年度調査)	30
写真3-3	早期後半の土坑墓(平成13(2001)年度調査)	30
写真3-4	小丘部(平成20(2008)年度調査)	30
写真3-5	盛り土遺構1(平成26(2014)年度調査)	39
写真3-6	盛り土遺構2(平成27(2015)年度調査)	39
写真3-7	盛り土遺構3(平成29(2017)年度調査)	39
写真3-8	盛り土遺構4(平成30(2018)年度調査)	39
写真3-9	ベンチ状段構造を持つ建物跡(平成21(2009)年度調査)	42
写真3-10	フラスコ状土坑(平成20(2008)年度調査)	42
写真3-11	配石遺構1(平成26(2014)年度調査)	53
写真3-12	配石遺構2(平成26(2014)年度調査)	53
写真3-13	配石遺構3(平成26(2014)年度調査)	53
写真3-14	足形付土版が副葬された土坑墓(平成13(2001)年度調査)	54
写真3-15	出土土器(平成20・21(2008・2009)年度調査)	54
写真3-16	主要出土遺物	55

第6章

写真6-1	垣の島川沿いのハマナス	76
写真6-2	砂利敷き園路	76
写真6-3	史跡から見える携帯電話通信施設	77

第7章

写真7-1	職員による解説	92
写真7-2	デジタルサイネージの視聴	92
写真7-3	発掘体験	93
写真7-4	デジタルコンテンツ体験	93

第9章

写真9-1	解説板(展望デッキ)	101
写真9-2	デジタルサイネージ	106

附 章

写真附-1	視点場からの眺望	123
-------	----------	-----